

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス それでいいのだ

支援プログラム

作成日

R8 年

2 月

18 日

法人（事業所）理念		感じる・行動する・伝える							
支援方針		スポーツを活かした療育が特徴です。子どもたちが体を動かす楽しさを体験し、成功体験を通じて「やってみる」意欲を育むことを目指しています。スポーツを通じて子どもたちの社会性や自己表現能力を育む支援プログラムを提供しており、地域との連携を大切にしながら、個々のニーズに寄り添った支援を行っています。健康・生活に関する支援を通じて、子どもたちがより良い生活を送れるようサポートしていきます。							
営業時間		9 時	30 分	から	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	各子どもの発達や特性に応じたコミュニケーションスキル、ソーシャルスキル、生活スキルの養成。スポーツや運動遊びを通じて、身体能力の向上を図る。特に、バスケットボールなどの運動プログラムを通じて、体力や運動能力を高めることを重視し行っている。運動能力や集中力を高めるためのリズムトレーニングを実施し、身体の使い方や動きの調整を学びます。これにより、健康的な生活習慣を身につけることを目指し向上させる。							
	運動・感覚	バスケットボールなどのスポーツを取り入れた運動プログラム。リズムトレーニングを通じて運動能力、集中力、認知機能の向上を図るプログラム 発達段階に合わせた個別活動を行い手先を動かしたり、色や数、形などを認識したりして興味を引き出せるよう課題を取り入れ、集中力を高め向上させる。							
	認知・行動	リズムトレーニングやゲームを通じて、集中力や認知機能を高める。 事業所についたらスケジュールボードで一日の流れ、活動内容を掲示し、見通しを持った行動ができるように視覚的な働きかけを行う。 ラダートレーニングでは、視覚的な情報処理能力を高め、足を動かす際に視覚的な指示を受け取り、それに基づいて行動できるよう支援する							
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションスキルを養う活動を通じて、言語能力を向上させる。 SSTを通じて、友達との関わりや相手の気持ちを考える力を育む。 自身の思いを適切に伝えた上で、相手の気持ちを知ることが理解できるよう支援する。							
	人間関係 社会性	ソーシャルスキルトレーニング（SST）を用いた活動で、遊びやゲームを通じて気持ちのコントロールや友達との関わり方を学ぶ。 気持ちのコントロールを学ぶことで、情緒の安定を図る。 活動を通して順番やルールを守る大切さを伝え社会に必要なスキルを身につけるよう支援する。							
家族支援		定期的な面談や相談を通じて、家族のニーズや子どもの状況を把握し、適切な支援を提供。家族向けのワークショップやセミナーを開催し、子育てに関する情報提供や支援方法の共有を行う。				移行支援		学校・関係機関との連携	
地域支援・地域連携		地域の学童との交流、近くの放課後等デイサービスとの交流 必要に応じて併行通園先（保育園・幼稚園・小学校・他事業所等）情報交換・共有				職員の質の向上		一人一人の児童・生徒に対する担当者会議の実施 月に1回の社内研修・会議	
主な行事等		遠足、節分、お別れ遠足 七夕、夏祭り 買い物体験、スポーツ大会、ハロウィン クリスマスパーティー、うどん作り、カラオケ・ボーリング大会							